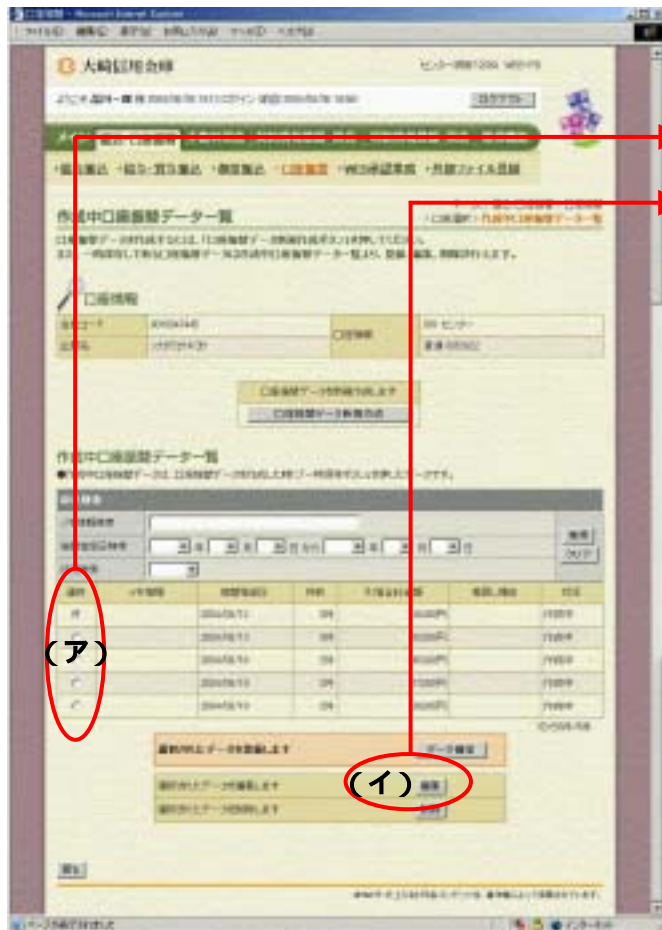


(2) 口座振替データ編集
詳細手順

口座振替データの編集



作成中口座振替データ一覧画面 (P 3 - 1 0 1) から編集する振込データを選択し、振込データの編集を行います。

(ア) 編集を行うデータを選択します。

(イ) **編集** をクリックします。

メモ

口座振替データの編集は、一時保存されたデータまたはWEB承認において差戻された口座振替データとする。
なお、承認待となった振込データは取引状況照会から編集可能とします。

ポイント

口座振替データ新規作成 をクリックすると、新規口座振替データの作成処理を行います。

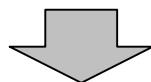
「第3章 8.(1) 口座振替データ新規作成」参照

作成中口座振替データ一覧から口座振替データを選択し、**データ確認** をクリックすると、選択した口座振替データの登録処理を行います。

「第3章 8.(1) 口座振替データ新規作成の ~ 」参照

作成中口座振替データ一覧から口座振替データを選択し、**削除** をクリックすると、選択した口座振替データの削除処理を行います。

「第3章 8.(3) 口座振替データ削除」参照





口座振替データ編集画面に登録されている内容が表示されますので、編集を行います。

(ア) 口座情報が表示されます。

(イ) 口座振替データ基本情報が表示されます。
 変更する場合は、以下のとおり入力してください。
 振替指定日
 口座振替契約に基づいた振替指定日を入力します。
 なお、入力可能な振替指定日は15営業日以内の日付となります。

メモ情報
 メモ情報を全角40文字までで任意に入力できます。

(ウ) 登録されている引落先登録一覧が表示されます。
 変更する場合は、各項目を以下のとおり入力してください。
 引落金額
 該当振替明細の引落金額を入力または変更します。
 なお、「0」入力または未入力は振替対象外明細となります。
 また、初期表示されていた金額を消去した場合も未入力扱いとなります。

メモ

引落先は1画面に5件まで表示されます。5件以上のデータがある場合には複数ページに表示します。

引落先は「需要家番号」と「グループ」から絞込検索することができます。

引落金額は自動入力オプションを利用して入力することもできます。

<全口座選択>
表示中の口座を全て選択します。

<前回金額入力>
選択した明細に対し、前回の口座振替データ作成の引落金額を自動入力する。
なお、入力される金額は、過去1ヶ月内の最新振替情報とし、参照データが存在しない場合は0円が入力されます。

<一括金額入力>
選択した明細に対し、一括して同一金額を入力する。

→ (エ) **データ確定** をクリックすると、編集後の内容で口座振替データが作成され、口座振替データ確認画面が表示されます。

メモ

口座振替データ編集画面にて編集した内容は口座振替データ確認画面に表示されますが、登録処理を行わないと実際の口座振替データには反映されません。

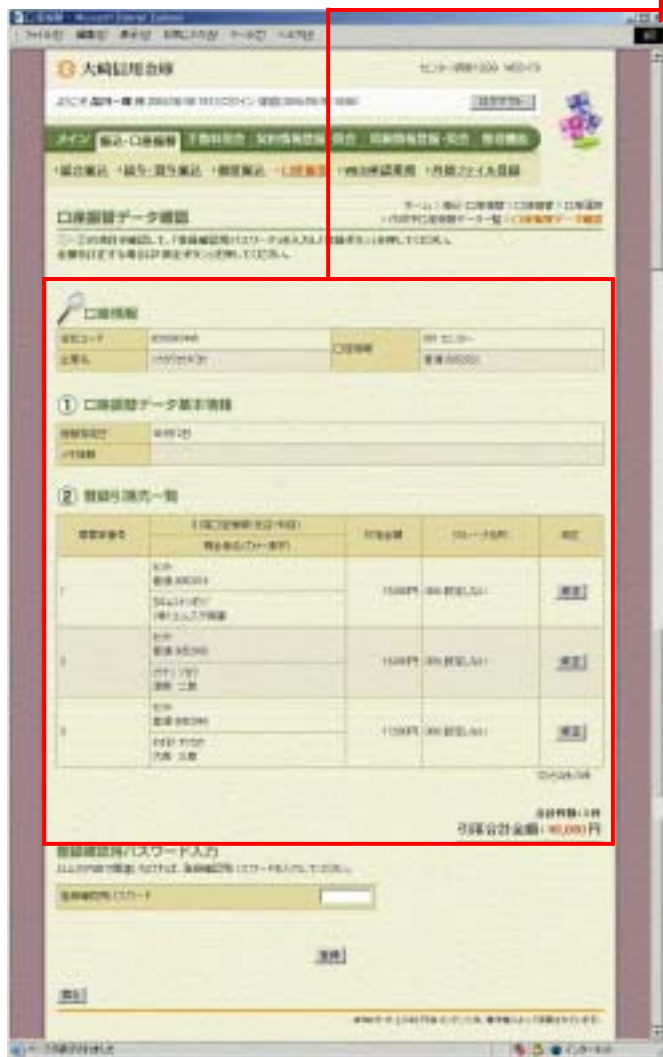
ポイント

一時保存 をクリックすると、編集中の口座振替データを一時的に保存し、作成中口座振替データ一覧画面へ戻ります。

クリア をクリックすると、入力した内容をクリアします。

新規明細登録 をクリックすると、新規の引落先明細を作成任意に作成することができます。

「第3章 8.(5) 新規明細登録」
参照



口座振替データ確認画面が表示されますので、編集内容を確認して登録処理を行います。
なお、登録処理は「P3 - 104 ~ 105」を参照してください。

ポイント

明細の **修正** をクリックすると、振込金額を修正できます。

「第3章 8.(4) 引落金額修正」参照